令和８年度 第６回
栃木東部地域会議　会議録

令和８年１０月２２日(木)
栃木市国府公民館　大交流室

栃木東部地域まちづくりセンター

別記様式

会　議　録

会議の名称	令和８年度第６回栃木東部地域会議
開催日時	令和８年１０月２２日（木）１８時００分　開会　　１９時００分　閉会
開催場所	国府公民館　大交流室
出席者氏名	別紙１のとおり
欠席者氏名	別紙１のとおり
事務局職員職氏名	別紙１のとおり
その他出席者等	別紙１のとおり
会議事項	別紙２のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	０人
その他必要事項	

会議の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<u>１　開会</u> ――開会―― **<u>２　会長あいさつ</u>**　島田副会長代理 **<u>３　議事</u>** 栃木市地域づくり推進条例第９条の規定により、柏崎会長による議事進行予定であったが、柏崎会長が開会時間に間に合わなかったため、会長が来るまで島田副会長が議長を代行した。 〈本日の出席委員数の報告〉 本日の出席委員１４名（委員総数１５名） 過半数以上の委員の出席であるため本日の会議は成立 **（１）令和９年度実施地域予算事業計画書について【情報提供】** ・資料１に基づき説明。
事務局	＜内容＞ ・令和８年９月２４日に開催した地域予算計画書提出式で提出された事業についての報告
	＜質問等＞
A 委員	・大平地域３番の事業で大平わいわいテラスが認定した世間遺産についての世間遺産とはどういったものか？要するに、有形や無形のもので言い伝えられてるものっていう意味ですか？
事務局	・調べたところ世間遺産とは「まちの中にあるいわゆる名所、旧跡ではないが、思わず人に伝えたくなる「人」「もの」「風景」、後世まで残したいと思う「人」「もの」「風景」、子ども達に残しておきたい「人」「もの」「風景」」だそうで

	す。
B 委員	・５ページ藤岡地域会議の３番。このバルーンが出張するみたいなことが書かれていますが、例えば国庁まつり規模のイベントでも来てくれる可能性はありますか？
事務局	・市内各種イベントと書いてあるので、今後お願いすれば来てくれる可能性はあるかもしれないです。
	（２）栃木中央地域会議と会議の共同開催について【協議】
	＜内容＞
	・栃木中央会議より提案があった。
	・提案理由は、意見交換で共通の地域課題を抽出し、最終的に共同提案をしたい。
	・共同開催するかどうかの判断を栃木東部地域会議委員に確認してから回答することになっている。
	＜質問等＞
B 委員	・東部地域会議ということですが、これはここを指定ですか？それとも西部にも声掛けしていますか？
事務局	・ここ指定です。
B 委員	・その理由は何でしょう？
事務局	・隣で似たような課題がありそうだからだと思います。
C 委員	・栃木中央地域会議の会長と私は個人的に知っています。東部地域は、将来の発展性もあるし、中央地域と共通する部分が多い可能性がある。具体的にどの部分かといったら、そこは向こうも絞っていません。また、中央地域の委員構成メンバーは圧倒的に若い女性が多いので、私ら高齢者の考えとは少し違うという背景があります。
D 委員	・開催のタイミングは決まっていますか？
事務局	・まだ決まっていません。東部地域会議で大丈夫となった場合に、次回かその次あたりに集まってやることになると思います。恐らく内容は、東部の委員と中央の委員でグループを作り、グループ内で話し合いながら課題を抽出するといった内容になるのかなと私は想像しています。
D 委員	・来期、再来期の予算のところを見据えた動きというような認識ですか？
事務局	・そうです。
B 委員	・共同提案の他に、東部地域会議独自の提案も可能ということですか。
事務局	・そうです。
B 委員	・やはりいろいろな人の意見も必要ということで賛成します。
E 委員	・意見交換というのであれば、ある程度の意見を絞ってその中から具体的に決めていくのですか？
事務局	・恐らくみんなで話し合いながらだと思います。
F 委員	・集まって何を話すとなっても急に出てこないと思う。
事務局	・ある程度話合いのテーマは絞ると思います。
E 委員	・持ち寄るというのであれば、ある程度は具体的な意見を東部地域で決めて出

	した方がいいかな。その中で、中央地域会議と共通のものがあれば共同提案すれば。
G 委員	・例えば東部地域会議の方で、あるテーマについて意見を出し合って、そして同じテーマで中央地域会議も意見を出し合って、そのテーマについて代表の方が話し合う方法だとより時間が効率よく使えるのかなと思う。
H 委員	・栃木市内と、一応こちら在になりますよね。市内の人って市内に無いものをこっち側に求めていると思う。こちらがあまり思いつかなくても向こうからすると、例えば市内の方々はうちの方にある運動広場を使ったり、今はないですが、刑務所の近くにあったグラウンドを市内の子供たちが利用することが意外とあるので、きっとそういうところも聞きたいのではないのでしょうか。
C 委員	・中央地域会議の会長さんも具体的なテーマを内部で話し合ってないとのことです。
D 委員	・皆さんおっしゃってる通りだと思いますが、すぐ集まって色々話し合うよりは、ある程度問題点を洗い出して、それですり合わせないと、結局向こうはこう言ってるけどこっちはこう言ってるだけの平行線だと時間の無駄になってしまう。どういうものを話し合いたいかをまとめた形で擦り合わせたほうが良いと思います。
C 委員	・私が思っているのは、メンバーが圧倒的に若い女性が多いので、出てくる意見が東部地域とはギャップがある意見がでてくるのではと考えている。それはそれで面白いと思いますが。
F 委員	・中央の委員さんは皆やりたいという方向ですか？
C 委員	・そうですね向こうは女性の若いメンバーが多いのでそういう方向なんですね。
I 委員	・中央地域会議は何を目的にしているのでしょうか。課題がはっきりしていなければ、こっちに課題を持ってくることができないですよね。中央の課題がはっきりしているのであれば、それと対案で突き合わせることはできますけど、共通の地域課題を抽出してって書いてあるが、その課題が見えてこない段階では難しいと思う。中央地域会議の委員が若い女の人が多いということで、移住してきてくれて農家を手伝ってくれるのかなとか、農業をやりたいとか言ってくれるのかなとか、そんなことを思ったりします。中央地域会議の課題として考えていることがもう少しわかったら、お互いに話しやすいし、こちらはもっと中央地域会議と関われる。こちらのイベントにもキッチンカーを呼びたいねとかいろいろ活性化につながる案が出てくると思う。課題が明確になってこないと、ちょっと焦点がぼやけちゃうのかなと思っています。
B 委員	・今までの意見と少し違うのですが、向こう側は元々会って話をして課題を絞り出しましょうという提案ですよね。こちらの意見は今のところ課題をある程度絞って話し合いましょうとなっています。私は最初賛成した理由は、向こうの人の意見も聞けるし、こっちの意見も年が違うし環境が違うかもわからないけれど、お互いの意見をぶつけ合ってその結果合わなければ、課題抽

	出しないで１回で別れる。もしありそうだったらもう１回やるとか、そういう柔軟な考えで方でいいのかなと。最初に聞いたのは、話し合ったら必ず共通課題でやってそれだけやるだと私は反対だと思ったのですが、東部地域のことは並行してやってもいいということなので割とゆとりを持って１回か２回の話し合い、無駄になっても、ここだって必ずしもそうじゃないけど無駄な時もあるので、１回ぐらい無駄でも、他の地域の雰囲気を味わえるし、せっかく相手に選ばれたので、いいんじゃないかなというのが私の考えです。
D 委員	・Ｂ委員の意見はその通りだとは思うのですが、１回意見を揉んで、それで話し合った方がより効率的なのではないかなと。それでも多分話し合いの中でいろいろ新しい話も出てくることは当然あるとは思う。ただ一度、先ほど出た意見と同じで、何を目的にやりたいのかが明確じゃないとこっちもどういうふうに対処していいのかわからないので、それができるといいと思います。
G 委員	・例えばこの栃木中央地域会議の事業名を拝見すると、ショートストーリーコンテスト開催事業、子供の権利啓発事業など、子供のことをすごく考えている事業が多いなと思いました。東部地域会議と比べてみると例えば防災とか共通のところもあると思いますが、無いところでいうと２番目のショートストーリーコンテストとか、４番目の子供の権利啓発についてで、やはり若い世代が多いということで親の目線でいろいろ活性化を考えているのかなと同じ立場として思った。そういうところでもし一緒に話し合えれば、こちらにも何か浸透させることができるかもしれないと考えている。例えば、この２番と４番に絞って、何か一緒にやるとか、そういうこともあり得るのかなと思っている。
J 委員	・市民会議や知事の懇談会に参加したときに、中央地域は防災に力を入れてる地域だと感じました。防災士を増やして防災について何か活躍できる場を提案しています。東部地域会議で一緒に話し合いをしたい所は、たぶん大宮地区がすごく発展をしていて防災に関して、本当に安心安全なのかなと注目されているからだと思います。民生委員の中でも主任児童委員をやってる人が特にこの中央地域会議の６番の防災に力を入れてるという方がいらっしゃいまして、そういうところでやっぱり中央地域にないところ部分を大宮地区で学びたいのかなというように感じておりました。
A委員	・中央地域会議と東部地域会議の件で、要するに中央地域会議の場合は町の中心だけの話と、他の地域にも関わるような話と、場合によってはもう少し旧栃木、旧大宮、旧国府など広いエリアで考えた方が良いようなこともあるのかと思います。例えば交通安全の問題とか道路事情がものすごく変わってきていて、中央地域だけで考えるよりも広いエリアで考えた方がいい問題と、それから中央地域会議は新しい若い人が多いということで、考え方がだいぶ違うかなと思いますので、開催方法についてはいろいろあるかと思いますが、Ｄ委員がおっしゃったように、ある程度話題を絞って共通の意見を１回擦り合わせてもよいのではないかと思います。
B委員	・話題を絞るという意見が多数なんですね。私もそれはそれでいいと思うので、

	例えばこの会議は今年度、あと２、３回あります。向こうもあると思いますので、それぞれ来年度に向けて、地区の課題で共通しそうなものを洗い出し、それをすり合わせて、何となく合いそうならば、来年一緒にやりましょうっていうことで返事してもいいのではないかなと思います。
議長	・中央からの申し入れなのに、向こうでテーマが決まっていないのは難しいですけど、東部は東部である程度絞って、中央に再度投げかけて、どんなテーマを中心に進めたいのか。それを１回討議してもらうといいと思う。一緒にやるとなると、結局予算の配分に関係してくるから、そこも頭に置きながら中央にどんなことで話し合いをしたいのか、事務局同士で当たってもらったらどうかなと思います。
Ｂ委員	・事務局の前に、こちらでも話し合ってそれをもとにっていうのがいいと思うのですが２，３回こっちもあるので。
議長	・中央地域会議がどんなことをテーマにして東部地域会議と話し合いをしたいのか当たってみて、それを皆さんに投げかけてやった方が考えやすいのかなと感じます。
事務局	・それでは次回は１１月なので、それまでにどういうことをしたいのかという概要書を作ってもらい、それを基に東部地域会議で話し合い、大丈夫となった場合には、話合いのテーマを何にするかを決めて、中央地域会議に提案してみるという流れにします。
	４　その他 ○次回の開催予定 令和８年度第７回会議 令和８年１１月２６日（木）午後６時００分（大宮公民館）
	５　閉会 ――閉会―― （会議終了時刻　午後７時００分）

別紙１　出席者及び事務局

〈出席者（委員）〉

会　長	柏崎　桂二	副会長	島田　研
委　員	島田　利恵	委　員	出井　康夫
委　員	岩間　靖子	委　員	大島　定男
委　員	大山　せい子	委　員	大橋　哲夫
委　員	早乙女　次男	委　員	森谷　芳子
委　員	斉藤　敏明	委　員	森　　寛
委　員	梁島あけみ	委　員	和久井賢司

〈欠席者（委員）〉

委　員　松本　博

〈事務局〉

川津　真一	（栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長）
根本　俊恵	（大宮公民館館長）
大塚　将己	（国府公民館主任）

〈その他出席者〉

別紙２　会議事項及び配付資料一覧

〈会議事項〉

１　開　　会

２　会長あいさつ

３　議　　事

（１）令和９年度実施地域予算事業計画書について【情報提供】

（２）栃木中央地域会議と会議の共同開催について【協議】

４　その他

・次回の開催予定

令和８年度第７回会議

令和８年１１月２５日（木）午後６時００分（大宮公民館）

５　閉　　会

〈配付資料一覧〉

・　令和９年度実施地域予算事業計画書　　資料１